

平成29年度事業報告

I. 総務に関する事項

1. 会 議

(1) 総 会

第39回 通常総会

平成29年6月20日(火)午前10時30分から大津市梅林一丁目14番17号「滋賀県農業共済会館3階大会議室」において開催し、下記議案を付議、原案通り議決された。

第1号議案 平成28年度事業報告及び収支決算(案)について

第2号議案 平成29年度会費及び会費徴収(案)について

第3号議案 役員を選任(案)について

報告事項 平成28年度公益目的支出計画報告書について

(2) 理 事 会

第1回理事会

平成29年6月20日(火)午前10時00分から大津市梅林一丁目14番17号「滋賀県農業共済会館3階大会議室」において開催し、総会付議事項及び公益目的支出計画実施報告書等について協議決定した。

第2回理事会

平成29年6月20日(火)午前11時30分から大津市梅林一丁目14番17号「滋賀県農業共済会館3階大会議室」において開催し、会長理事及び副会長理事の選任について協議決定した。

第3回理事会

平成30年3月13日(火)午前10時00分から大津市梅林一丁目14番17号「滋賀県農業共済会館3階大会議室」において開催し、平成29年度職務執行状況並びに平成30年度事業計画及び収支予算(案)について協議決定した。

なお、次年度以降の会費及び共同防除事業に係る実施団体負担金の見直し(案)についても協議した。

(3) 監 事 会

平成29年5月23日(火)大津市梅林一丁目14番17号「滋賀県農業共済会館2階中会議室」において開催し、平成28年度事業実施状況及び予算執行状況に

ついて監査を受けた。

(4) 幹事会

第1回幹事会

平成29年6月2日(金)「滋賀県農業共済会館3階大会議室」において開催し、平成28年度事業報告及び収支決算(案)、平成29年度収支予算の補正(案)等について協議した。

第2回幹事会

平成30年3月1日(木)「滋賀県農業共済会館3階大会議室」において開催し、平成29年度事業の執行状況並びに平成30年度事業計画及び収支予算(案)、次年度以降の会費、共同防除事業に係る実施団体負担金の見直し(案)について協議した。

2. 会 員

平成29年度末の会員数は44団体であった。

正会員 12団体(前年度12団体)

賛助会員 32団体(前年度32団体)

会費区分	収入決算額(円)
正会員	3,500,000
賛助会員	820,000
合計金額	4,320,000

II. 植物防疫推進事業に関する事項

1. 共同防除事業推進会議

(1) 共同防除事業推進会議並びに水稻無人ヘリ防除安全運航対策会議

市町、JA等を対象に病虫害共同防除事業計画及び危被害防止・安全対策等について協議した。なお、ヤンマーヘリ&アグリ(株)技術サービス部の加藤和広氏より「無人ヘリ安全フライトについて」と題して研修を実施した。

(6月27日 滋賀県農業共済会館3階大会議室)

2. 機関誌の発行、配布

「滋賀植物防疫」を発行し関係機関、団体等に配布した。

第63巻第1号(29年度事業計画、展示ほ、委託試験)

第63巻第2号(29年度共同防除事業実績、農薬展示ほ、委託試験成績書)

支出区分	支出決算額(円)	作成部数 (部)	作成時期
1号	79,002	110	7月
2号	128,304	220	3月
合計金額	207,306	330	

3. 適正防除推進事業に関する事項

1. 農薬安全使用普及啓発

- (1)「平成30年度県農作物病虫害雑草防除基準」を印刷して、市町病虫害防除協議会、賛助会員等に配布し、安全適正防除の推進を図った。
- (2)「平成29年度農薬危被害防止運動実施中」のポスターを印刷し、各関係機関へ配布した。

支出区分	支出決算額(円)	備考
防除基準印刷代	81,200	@ 1,000 × 44 冊 = 44,000 を 賛助会員から徴収
ポスター印刷代	34,204	
合計金額	115,404	

2. 研修会の開催

(1) 有害鳥獣害防止技術情報交換会

農村まるごと保全推進協議会東近江支部と共催し平成29年11月15日(水)愛東コミュニティセンターにおいて、有害鳥獣害防止技術に関する情報交換会を開催した。滋賀県農業技術振興センター農業革新支援部の山中副参事より「再発防止に向けた技術について」防護柵の維持管理を中心に説明を受けた。

現地研修として、(有)エムテクノ代表取締役杉田和人氏より「物理柵の効果的な機能アップ、補強の仕方」(株)末松電子製作所北陸営業所長の服部義和氏からは「電気柵の効果的な設置方法と維持管理」について説明を受けた。

参加者からは多くの質問があり、活潑な情報交換が行われた。

有害鳥獣害防止技術情報交換会費用

支出区分	支出決算額 (円)
講師旅費・報償費	31,020
資料等	6,240
合計金額	37,260

(2) 植物防疫研修会の開催

農薬に関する知識・理解を一層深め、安全かつ適正な農薬使用と効率的な病虫害防除に係る資質向上を図ることを目的に、平成30年2月23日(金)滋賀県農業技術振興センター大会議室において、病虫害防除員、市町病虫害防除協議会、地域農業センター、JA、県関係機関、関係団体等を対象に植物防疫研修会を開催し46名が参加した。

今回は、農業分野において導入普及が期待されている産業用マルチローター(ドローン)の利活用を中心に研修会を実施した。

研 修

「無人航空機による農薬散布のルール」

滋賀県農政水産部農業経営課 主任技師 井田 陽介 氏

「農林水産業におけるドローンの利活用推進について」

滋賀県病虫害防除所 副主幹 重久 眞至 氏

報 告

「今年度、県内で新たに発生した病虫害について」

滋賀県病虫害防除所 主査 有本 倫子 氏

実 演

「ドローンによる模擬飛行」

東海スカイテック(株)次長 太田 博之 氏

植物防疫研修会費用

支出区分	支出決算額(円)
講師旅費宿泊費	0
参加者飲料	7,344
合計金額	7,344

Ⅲ. 農薬委託試験及び展示ほ受託事業に関する事項

1. 委託試験事業

新しく開発された剤について、農薬登録に必要な試験成績を作成、検討評価し、優れた防除法の確立に貢献した。

- (1) 一般社団法人日本植物防疫協会から水稲、野菜、果樹、花き、茶等の殺菌・殺菌殺虫剤30剤を受託し、農業技術振興センターに委託実施した。
- (2) 公益財団法人日本植物調節剤研究協会から水稲除草剤9剤を受託し、農業

技術振興センターに委託実施した。

2. 展示ほ事業

新しい農薬の実証展示、普及性の検討を行い、その結果を県防除基準への登載に向けた資料とした。

- (1) 公益財団法人日本植物調節剤研究協会並びに賛助会員から水稲・麦・大豆・野菜の除草剤及び殺菌殺虫剤の効果確認の展示ほ26剤・39件を受託し、各地域農業農村振興事務所農産普及課等の協力を得て実施した。その結果、除草剤15剤及び殺菌殺虫剤7剤について普及性ありと評価された。

区 分	収入決算額(円)	支出決算額(円)
日植防受託収入	5,011,200	県委託費 6,785,100 諸謝金 185,000
日植調受託収入	1,547,640	
展示ほ受託収入	1,555,200	
日植防助成金収入	100,224	
合 計 金 額	8,214,264	6,970,100

- (2) 展示ほ設計検討会(4月14日)、水稲除草剤の現地巡回検討会(6月16日)同成績検討会(7月27日)、殺菌・殺虫剤成績検討会(12月6日)を開催し、実用性の高い薬剤については、「県農作物病虫害雑草防除基準」に登載されることとなった。

水稲除草剤の現地巡回検討会費用

支出区分	支出決算額(円)
参加者	28人
バス借上・通行料	86,400
昼食・お茶	26,989
合計金額	113,389

3. 農薬委託試験等事業運営委員会

平成30年3月23日(金)に農業技術振興センター会議室において、平成30年度農薬展示ほ設置運営等について協議した。

IV. 共同防除事業に関する事項

1. 無人ヘリコプター防除

(1) 無人ヘリコプター防除は、36実施団体等で19,391haが実施され、このうち22団体から委任を受け、水稻3,688ha、麦1,602ha、大豆988haと合わせ6,278haを受託実施した。()は前年度実績

作物	協会受託	受託割合	全 県
水 稻	3,688ha(3,818)	34.2%	10,791ha (11,927)
麦	1,602 (1,636)	33.4	4,803 (4,835)
大 豆	988 (760)	26.0	3,797 (3,757)
合 計	6,278 (6,214)	32.4	19,391 (19,519)

区 分	収入決算額(円)	支出決算額(円)
散布受託収入	111,881,088	
防除業者負担金収入	3,139,200	
実施団体負担金収入	125,568	
散布委託費		111,881,088
事務委託費		540,000
合 計 金 額	115,145,856	112,421,088

(2) 無人ヘリコプター防除安全運航推進会議の開催

- ① 平成29年6月27日(火)、滋賀県農業共済会館3階大会議室にて、実施団体、JA及び防除業者を対象に無人ヘリ防除実施計画に基づく適正防除並びに安全運行対策について協議した。
- ② 平成30年2月15日(木)JA全農しが野洲総合センター会議室において、無人ヘリ実施団体等を対象に当該年度の無人ヘリ防除実績及び課題等を踏まえ、次年度に向けての安全対策の取り組みについて協議した。

なお、関西電力(株)滋賀電力所の尾関利夫氏から「架線等付近での無人ヘリ散布作業について」研修を実施した。

(3) 第19回無人ヘリ飛行技術競技会

本会無人ヘリオペレーターの飛行技術の向上と安全啓発及び会員相互の交流を図るため、平成29年10月16日(月)に、近江八幡市津田町の近江八幡市立運動公園グラウンドにおいて飛行技術競技会を開催する予定でしたが、天候不良により中止となった。

なお、10月26日(木)茨城県水戸市で開催の「第26回全国産業用無人

ヘリコプター飛行技術競技大会」には、前年度の優勝チームが県代表として出場し、対面飛行の部において、全国農林航空事業推進協議会長（第3位）と健闘した。

2. 貸付防除機の点検整備

・巡回点検整備

平成29年10月19日～11月24日（延6日間）14ヶ所で各地域農業センター等の協力を得て、平成23・24年度貸付防除機の点検整備を実施した。

巡回点検対象台数 266台 点検整備台数 196台（点検率73.7%）

（滋賀県農業共済組合 南部、東部、湖北支所管内）

・自主点検整備

平成29年11月末までに各農業共済組合支所にて実施された。

自主点検対象台数 125台 点検整備台数 125台（点検率100%）

（滋賀県農業共済組合支所 南部支所管内）

・巡回及び自主点検合わせた点検整備台数は321台（点検整備率は82.1%）であった。

なお、未点検整備の貸付防除機については、滋賀県農業共済組合支所ごとに保管状況を確認した。

貸付防除機事業は、昭和39年に農業共済の損害防止事業のひとつとして始まり病虫害の一斉共同防除に大きく寄与してきたが、既に地域や農家で防除機を保有していることから平成24年度をもって終了した。なお、点検整備は、貸付期間（7年間）満了時の平成30年度まで実施される。

平成29年度貸付防除機点検整備状況

地域	貸付台数	点検台数	点検率	備考
大津・南部	27	25	92.6%	巡回点検 大津、栗東市 自主点検 草津、守山、野洲市
甲賀	0	0	—	平成24年度で点検整備終了
東近江	170	124	72.9%	巡回点検（湖東町を含む）
湖東	13	7	53.8%	巡回点検
湖北	69	53	76.8%	巡回点検
高島	112	112	100%	自主点検
合計（平均）	391	321	82.1%	貸付台数は、平成23、24年度の貸付台数